

あきた 市議会だより

No.153

平成26年
2月7日



第五回秋田県新春書初め席書大会
(秋田県立武道館)

11月定例会の概要 P 2
議案等に対する会派別の表決状況 P 3~4
一般質問 P 5~9
決算特別委員会の審査から P 9
常任委員会の審査から P 10
2月定例会のお知らせ (予定) P 10

11月定例会の概要

11月29日～
12月20日

11月定例会では、平成24年度一般会計および特別会計歳入歳出決算を認定しました。また、秋田市市民サービスセンター条例の一部を改正する件などの条例案14件、予算案16件、単行案18件をすべて可決したほか、議員提案による意見書案5件を可決し、陳情5件を採択しました。さらに、人事案2件に同意しました。

主な議案

平成24年度決算

平成24年度の秋田市一般会計および特別会計の決算については、10月15日から18日までの4日間の決算特別委員会審査の後、11月定例会で認定しました。決算の概要および決算特別委員会の委員は次のとおりです。

決算特別委員会

委員長 渡辺 正宏
副委員長 佐藤 広久
委員 今川 雄策
伊藤 一榮
見上万里子
小松 健
成沢 淳子
小林 一夫
工藤 新一
倉田 芳浩

決算の概要

一般会計および特別会計の予算現額2千29億4千576万3千円に対し歳入決算額は1千959億1千350万4千円で、執行率は96・5%（23年度95・7%）でした。また、これに対応する歳出決算額は1千929億9千697万8千円で、執行率は95・1%（23年度94・1%）となり、歳入歳出差引額は29億1千652万6千円となりました。このうち25年度への繰越財源3億925万3千円を差し引いた実質収支額は26億727万3千円の黒字決算となりました。



予算

公立学校施設災害復旧事業

平成25年11月7日の突風により被災した秋田市立泉中学校施設の復旧を行います。

被害状況 防球ネット支柱の倒壊など

3千500万円

在宅子育てサポート事業

在宅で子育てをしている家庭に対し、複数の子育て支援サービスを提供するためのクーポン券について、年度当初から利用できるように交付時期を早めます。

債務負担行為設定

1千922万6千円

条例

秋田市市民サービスセンター条例の一部を改正

南部市民サービスセンターを設置し、その施設等について定めるため、改正しました。

名称 秋田市南部市民サービスセンター
位置 秋田市御野場一丁目5番1号

施行期日 26年5月12日（使用の許可等の規定は26年4月1日）から

秋田市病院事業の設置等に関する条例を廃止

市立秋田総合病院の地方独立行政法人への移行に伴い、病院事業を廃止するため、条例を廃止しました。

施行期日 26年4月1日から

秋田市保育所設置条例の一部を改正

保戸野保育所、手形第一保育所および牛島保育所の民間移行に伴い、各保育所を廃止するため、改正しました。

施行期日 26年4月1日から

単行案

秋田市新庁舎建設工事請負契約を締結する件

契約金額 125億1千720万円
契約先 清水・千代田・シブヤ・田村建設工事共同企業体

工期 28年4月28日まで
延べ面積 3万980・23㎡



新庁舎のイメージ図

人事

教育委員会委員

野口 かつら かおり氏（再任）

人権擁護委員

津谷 ゆき子氏（再任）

議案に対する会派別の表決状況

◆ 11月定例会の結果

()内の数字は所属議員数。ただし、秋水会は議長を除く。

件名	秋水会(12)	市民ク(5)	希望(5)	公明党(4)	共産党(4)	フオ21(3)	社・市(2)	護・わ(1)	市民み(1)	温修(1)	議決結果
◆ 平成24年度秋田市一般会計および特別会計歳入歳出決算認定の件	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	認定
◆ 秋田市職員定数条例の一部を改正する件	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
◆ 秋田市職員の定年等に関する条例の一部を改正する件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
◆ 秋田市職員の高齢者部分休業に関する条例の一部を改正する件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
◆ 秋田市公営企業職員の給与に関する条例の一部を改正する件	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	
◆ 秋田市職員給与条例等の一部を改正する件	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	
◆ 秋田市市民サービスセンター条例の一部を改正する件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
◆ 秋田市病院事業の設置等に関する条例を廃止する件											
◆ 地方独立行政法人市立秋田総合病院に係る重要な財産を定める条例を設定する件											
◆ 地方独立行政法人市立秋田総合病院への職員の引継ぎに関する条例を設定する件	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	
◆ 秋田市保育所設置条例の一部を改正する件											
◆ 秋田市母子生活支援施設設置条例の一部を改正する件											
◆ 秋田市中小企業融資あっせん条例の一部を改正する件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
◆ 秋田市営住宅条例の一部を改正する件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
◆ 建物を出資する件											
◆ 公立大学法人秋田公立美術大学定款の一部を変更する件	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	
◆ 地方独立行政法人市立秋田総合病院定款の一部を変更する件											
◆ 地方独立行政法人市立秋田総合病院に承継させる権利を定める件											
◆ 秋田市西部市民サービスセンターの指定管理者を指定する件											
◆ 秋田市八橋老人デイサービスセンターの指定管理者を指定する件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
◆ 秋田市旭南老人デイサービスセンターの指定管理者を指定する件											
◆ 秋田市川口老人デイサービスセンターの指定管理者を指定する件											
◆ 秋田市外旭川老人デイサービスセンターの指定管理者を指定する件	○	○ ⁴ 除1	○	○	○	○	○	○	○	○	
◆ 秋田市河辺老人デイサービスセンターの指定管理者を指定する件											
◆ 秋田市勤労者総合福祉センター等の指定管理者を指定する件											
◆ 秋田市職業訓練センターの指定管理者を指定する件											
◆ 秋田市雄和観光交流館等の指定管理者を指定する件											
◆ 秋田市河辺岩見温泉の指定管理者を指定する件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
◆ 秋田市太平山スキー場および太平山リゾート公園の指定管理者を指定する件											
◆ 市道路線を廃止する件											
◆ 市道路線を認定する件											
◆ 秋田市新庁舎建設工事請負契約を締結する件	○	○	○	○	×	×	○	×	○	○	
◆ 平成25年度秋田市一般会計補正予算（第4号）の件											
◆ 平成25年度秋田市土地区画整理会計補正予算（第1号）の件											
◆ 平成25年度秋田市市営墓地会計補正予算（第1号）の件											
◆ 平成25年度秋田市中央卸売市場会計補正予算（第1号）の件											
◆ 平成25年度秋田市公設地方卸売市場会計補正予算（第2号）の件											
◆ 平成25年度秋田市大森山動物園会計補正予算（第2号）の件											
◆ 平成25年度秋田市廃棄物発電会計補正予算（第1号）の件											
◆ 平成25年度秋田市国民健康保険事業会計補正予算（第2号）の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
◆ 平成25年度秋田市母子寡婦福祉資金貸付事業会計補正予算（第1号）の件											
◆ 平成25年度秋田市介護保険事業会計補正予算（第2号）の件											
◆ 平成25年度秋田市後期高齢者医療事業会計補正予算（第1号）の件											
◆ 平成25年度秋田市病院事業会計補正予算（第1号）の件											
◆ 平成25年度秋田市水道事業会計補正予算（第2号）の件											
◆ 平成25年度秋田市下水道事業会計補正予算（第1号）の件											
◆ 平成25年度秋田市農業集落排水事業会計補正予算（第1号）の件											

←4ページに続きます

議案、請願・陳情に対する会派別の表決状況

件名		秋水会(12)	市民ク(5)	希望(5)	公明党(4)	共産党(4)	フォ21(3)	社・市(2)	護・わ(1)	市民み(1)	温修(1)	議決結果
市長提出	◆ 秋田市職員給与条例の一部を改正する件	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	可決
	◆ 平成25年度秋田市一般会計補正予算（第5号）の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	◆ 秋田市教育委員会委員の任命について同意を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	◆ 人権擁護委員の候補者の推薦について意見を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議員提出	◆ 手話言語法（仮称）制定に関する意見書提出の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	◆ 「原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律」の改正に関する意見書提出の件	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	
	◆ 安全・安心の医療・介護の実現と看護師等の夜勤改善・大幅増員に関する意見書提出の件	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	
	◆ 介護職員の処遇改善に関する意見書提出の件	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	
請願	◆ TPP交渉に関する意見書の提出について	×	○	×	×	○	○ ¹ × ²	○	○	×	×	不採択
	◆ 政府が米等の需給と価格に責任を持つ政策の確立に関する意見書の提出について	×	○	×	×	○	○	○	○	×	×	
陳情	◆ 「原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律」の改正に関する意見書の提出について	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	採択
	◆ 日本国憲法を生かし、安定した雇用の実現等に関する意見書の提出について	×	○	○	×	○	○	○	○	○	×	
	◆ 医療・介護など社会保障の充実にに関する意見書の提出について	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	不採択
	◆ 安全・安心の医療・介護の実現と看護師等の夜勤改善・大幅増員に関する意見書の提出について	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	
	◆ 介護職員の処遇改善に関する意見書の提出について	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	不採択
	◆ 憲法を生かした安心介護等に関する意見書の提出について	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	
	◆ 消費税増税の中止等に関する意見書の提出について	×	×	×	×	○	×	○	○	×	×	
	◆ TPP交渉からの撤退に関する意見書の提出について	×	○	×	×	○	○ ¹ × ²	○	○	×	×	
◆ 特定秘密の保護に関する法律の即時廃止に関する意見書の提出について	×	○	○ ¹ × ⁴	×	○	○	○	○	○	×	採択	
◆ 手話言語法（仮称）制定に関する意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

※「除1」の記載は、除斥(じよせき)により採決に加わらなかった議員が1人いたことを示しています。除斥とは、議会の審議を公正なものとするため、議題となった案件と一定の利害関係にある議員を議場から退席させることです。
 ※会派内で賛否が分かれた場合、賛成(○)と反対(×)の人数を数字で掲載しています。
 ★略記している会派の名称～「市民ク」は市民クラブ、「公明党」は公明党秋田市議会、「共産党」は日本共産党秋田市議会議員団、「フォ21」はフォーラム21、「社・市」は社会・市民連合、「護・わ」は護憲・わんぱくの会、「市民み」は市民のみかた

意見書を提出しました | 秋田市議会の意見として、次の意見書を、国会および関係行政庁に提出しました。

- 手話言語法（仮称）制定に関する意見書
- 「原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律」の改正に関する意見書
- 安全・安心の医療・介護の実現と看護師等の夜勤改善・大幅増員に関する意見書
- 介護職員の処遇改善に関する意見書
- 日本国憲法を生かし、安定した雇用の実現等に関する意見書



【継続審査となった案件】 陳情◆岩見三内地区における診療所の存続について
 ◆年金2.5%削減実施の中止に関する意見書の提出について



ホームページで過去の議会だよりもご覧になれます



一般質問

市政全般にわたり、9人の議員が質問しました。

秋水会
津谷 聡

◇平成26年度予算編成方針◇
新庁舎建設◇人口減少対策◇
空き家対策◇秋田市医師会立
秋田看護学校の改修◇待機児
童対策◇特殊詐欺被害◇市民
活動団体等の活動状況◇市立
図書館

特殊詐欺被害

問 特殊詐欺に対する効果的な被害防止策として、啓蒙活動による注意喚起に力を入れていますが、件数および被害額が急増している実態を踏まえ、新たな具体策を講じるべきではありませんか。

答 消費者庁では、今年度から高齢者の消費者被害防止のためのモデル事業として、家庭用電話機に自動着信拒否機器を設置し、被害を抑制する新たな取り組みを一部の都市で始めています。今後、先行する他都市からの情報収集に努め、効果等を見極めながら、本市での導入について検討していきます。

市立図書館



中央図書館 明徳館

問 市民の読書環境を充実させるために、市立図書館の図書資料整備経費を大幅に増やす考えはありませんか。また、利用時間を延長する考えはありませんか。

答 本市では、ここ数年、明徳館河辺分館やフオンテ文庫の開設、移動図書館および図書館システムの更新等を行ってきましたが、今後は、図書館ネットワークの一層の活用を図るとともに、図書資料整備経費の増額にも努めながら、読書環境の充実に取り組んでいきます。また、利用時間については、利用実態や市民からの要望、各図書館の立地条件等を考慮の上、延長も含め、そのあり方について考えていきます。

市民クラブ
花田 清美

◇二元代表制◇地方交付税の別枠加算の廃止◇県市連携文化施設(※1)の整備◇国際教養大学との連携◇新庁舎建設事業◇空き家および廃屋対策◇農業問題◇秋田市医師会立秋田看護学校◇市立秋田総合病院◇学力テスト◇南部地域の諸課題

県市連携文化施設

問 新文化施設を検討する前に、多額の改修費用を投じてきた文化会館の継続活用を検討するべきではありませんか。

答 市文化会館は、昭和55年に開館し、舞台関係や空調、給排水設備等の大部分は既に耐用年数を経過しており、継続使用に耐えうる最小限の補修を行ってきたものの、今後の抜本的な改修には、多額の経費が見込まれる状況となっています。こうしたことから、老朽化が進む県民会館を抱える県とともに、両施設に代わる新たな文化施設の一体的な施設整備と効率的な運営のあり方を現在検討しています。

南部地域の諸課題

問 仁井田地区コミュニティセンター(仮称)と仁井田児童館との合築をするべきではありませんか。

答 コミュニティセンターの整備については、現在、既存施設の耐震化や老朽化に伴う大規模改修を年次計画により実施しています。今後は、市長公約に掲げる3つのコミュニティセンターの新設とサービスセンター構想の中で予定している南部公民館の改修に年度間調整を図りながら取り組んで行くことから、仁井田地区コミュニティセンターについては、財政事情等を勘案しながら、できるだけ早期の建設に努めていきます。なお、設置の手法については事業計画の中で検討していきます。



仁井田児童館

※1 県市連携文化施設…秋田県と秋田市では、秋田県民会館と秋田市文化会館のどちらも老朽化が進んでいることから、文化施設のあり方について検討を進めています。

本会議での質問者順に、質問項目および主な質問と答弁要旨を掲載しています。掲載する項目と質問は、質問者自身が選定しています。

一般質問

希
小望
松まつ
健たける

◇市政を取り巻く諸課題◇主要施策の制度設計

市民活動の活性化

問 市民活動およびコミュニティの活性化に資するため、市民に分かりやすい、具体的・戦略的なビジョンを新しく制定してはどうですか。

答 平成16年に、独自性のある地域づくりを担う市民活動を促進するため、市民活動促進基本方針を策定し、19年の最終改定の方針に基づき、各施策の実践と市民への浸透に取り組んできました。しかし、方針の中で、個々の施策の進捗管理も行っていたことから、改めて改定の必要性を精査し、今後の方針を検討していきます。なお、新たな指針等の策定は、今のところ考えていません。



秋田市新規採用職員研修

人材育成・確保策

問 新秋田市人材育成基本方針の見直しおよび地方自治新時代に対応できる人材の育成、確保、登用などの対策をしてはどうですか。

答 本市の人材育成基本方針は、平成18年の策定から年数が経過しており、見直しに当たっては、求められる職員像の構築や新たな人材育成策など、さまざまな観点から検討することになるものと考えています。また、これからの時代に対応できる職員の確保については、専門知識を持つ職務経験者を積極的に採用するなど、今後も、多様な人材の確保を図っていきます。

公明党秋田市議会

石塚秀博
いしづかひろ

◇人口減少と諸課題◇防災・減災◇国民文化祭と文化・芸術の振興◇除排雪対策

人口減少社会への対応

問 将来、本市の生産年齢人口減少による就業者、所得、消費の減少、そして地域経済の衰退により市の歳入の減少という負の連鎖が懸念されますが、どのように予測し、対応していくのですか。

答 人口減少の進行は、社会経済や市民生活はもとより、都市経営の根幹への影響が危惧されます。本市では、将来の人口減少社会を見据えて、県都『あきた』成長プランにおいて、次世代に元気な秋田市を引き継ぐために、子供を生み育てやすい環境づくりや若者の雇用創出、エイジフレンドリーシティの実現など、持続可能な都市経営の確立に向けて取り組んでいるところであります。今後も、住民の多様化する価値観を見極め、人口減少の抑制に取り組みます。



改築中の手形第一保育所

防災・減災

問 学校施設における天井等非構造部材の耐震点検の進捗状況と結果はどうですか。また、その対応についてどのように考えていますか。

答 学校施設における天井等については、平成25年9月に総点検を行い、その結果、改修が必要な天井を有する学校は10校であり、高所に設置された照明器具等についてはほとんどの学校で対策が必要な状況です。このことから改修が必要な吊り天井を有する体育館等を優先して実施するほか、照明器具等の改修も順次進めていきます。

■ 請願・陳情の提出について

請願書・陳情書は趣旨を具体的に記載し、提出年月日、提出者(代表者)の住所を記載、氏名については署名または記名押印の上、定例会の招集日の3日前(市の休日は算入しません)の午後5時までに議長あてに提出してください。ご不明な点は、議会事務局までお問い合わせください。

議会事務局議事課 電話 (866) 2233

一般質問

市政全般にわたり、9人の議員が質問しました。

日本共産党秋田市議会議員団
加賀屋 千鶴子

◇市長の政治姿勢◇子供の貧困対策◇災害に強いまちづくり◇介護保険◇ごみ問題◇市の非正規職員の処遇改善等◇地域の諸課題

災害時の情報伝達体制

問 市民に津波警報等の情報が確実に伝わるよう、防災行政無線の設置など伝達手段のさらなる多重化、多様化を図るべきではありませんか。

答 津波警報等の発表時は津波警報サイレンの吹鳴とともに、ICTの活用や報道機関との協定により市民へ情報を伝達することとしています。その中でも特に、防災ネットあきたは、メールで一人一人に情報伝達できる有効な手段であり、引き続き市民へ登録を呼び掛けている。また、現在、移動系防災行政無線のデジタル化等の整備を進めているところであり、その中で津波警報サイレンの増設を含めた可聴範囲の拡大について検討していきます。

ごみ問題

問 資源集団回収の活動が広まるよう、奨励金の増額や制度の改善を検討するべきではありませんか。

答 市民が参加する資源集団回収の奨励金は、平成24年7月の家庭系ごみ有料化に合わせ、単価を雑誌・雑紙については1キログラム当たり4円から6円へ、その他の紙類は1.5円から2円へ増額しています。これによって、回収量および実施団体の減少傾向に歯止めがかかったものの大幅な増加にまでは至っていない状況にあります。奨励金を含む制度内容の検討については、奨励金を増額してからまだ1年余りであり、効果を見極め判断していきます。



資源集団回収

フォーラム21
伊藤 巧一

◇市長の政治姿勢◇今後の農業情勢の展望◇新庁舎建設◇入札制度◇県市連携文化施設◇エリアなかいち◇秋田市公設地方卸売市場◇時差出勤◇結婚支援

結婚支援

問 少子化対策の一環として、本市でも婚活専門担当者の設置を検討するべきではありませんか。

答 本市では、平成23年度から県や県内他市町村のほか各種団体とともに、あきた結婚支援センター事業に参画しており、広域的で多様な主体による取り組みによって一定の成果が出ているものと認識しています。したがって、現時点では、市での婚活専門担当者の設置は考えていませんが、今後、あきた結婚支援センターの会員団体となっている企業・団体や、地域で活動する婚活サポーター等の協力も得ながら、結婚を希望する若者に対する支援の充実に努めていきます。

県市連携文化施設

問 県市連携文化施設が整備された場合、秋田市文化会館の活用をどのように考えていますか。

答 新文化施設については、整備構想検討委員会において、県と役割分担をしながら、1千800人から2千200人規模の高機能型ホールと、800人から1千200人規模の舞台芸術型ホールの二つのホールを中心に整備することを提案しています。この舞台芸術型ホールは、現在の市文化会館のホール機能を継承するものと想定しており、加えて、市文化会館は施設の老朽化や設備の更新などの課題もあることから、新文化施設が整備された場合には、現在の文化会館はその役割を終えるものと考えています。



秋田市文化会館

■本会議を生中継しています

本会議は、秋田ケーブルテレビ(デジタル122ch)と、市議会ホームページの動画配信により、全日程を生中継しています。開始時間は、午前10時を予定していますが、都合により遅れることもありますので、ご了承ください。

なお、2月定例会の本会議は、2月20日、3月4日、5日、7日、10日、20日に中継予定です。



本会議での質問者順に、質問項目および主な質問と答弁要旨を掲載しています。掲載する項目と質問は、質問者自身が選定しています。

一般質問

市民のみかた

佐藤 哲治

◇市長の政治姿勢◇財政運営
◇中心市街地等の活性化◇事務処理誤りへの対応◇人口減少社会への対応◇防災対策◇空き家対策◇保育所入所の待機児童対策◇観光◇南寧市における貿易関連事業◇林業振興◇マイタウン・バス◇消防団◇地域の諸課題

中心市街地等の活性化

問 中通一丁目地区市街地再開発事業は、イベントを開催し続けなければ集客できない再開発事業だったのではないですか。

答 本事業は、千秋公園に隣接する恵まれた周辺環境を活かした都市空間の創出と、新たな回遊型商業施設の提供等により、広く県民市民によるにぎわい創出と多世代交流を図りつつ、中心市街地における商業の活性化や都市居住の推進を図ることをコンセプトとしています。このコンセプトを基に、秋田駅前、大町等の商店街や、その周辺にある歴史・文化施設と連携した

さまざまなイベントを市民と共に開催することにより、中心市街地のにぎわいの核となるエリアとして位置づけたものです。

地域の諸課題

問 医療法人が運営していた岩見三内クリニックが10月に閉鎖されましたが、医療空白地となることを防ぐためにも存続させるべきではありませんか。

答 同クリニックは、長年にわたり岩見三内周辺地区の医療に貢献してきましたが、閉院により、これまで通院していた方や地区住民にとつては、不安感が高まっているのではないかと危惧しています。本市では、同クリニックから閉院の相談を受けた際に、秋田市医師会等へ後継者の確保に向けた働き掛けをしており、その存続に向け、引き続き医療関係者への情報提供を行っています。



きます。

秋水会

齊藤 善悦

◇教育行政◇第6次秋田市総合都市計画◇県市連携◇行財政運営◇市長の政治姿勢

農業政策

問 減反廃止等による米政策の転換やTPP交渉、農地中間管理機構等の動向を踏まえ、国の農業政策の大転換と農業・農村への影響に対する認識と今後の対応をどう考えていますか。

答 農業者の高齢化や耕作放棄地の増大、TPP交渉など貿易自由化の流れの中で、競争力強化や活性化を図るためには、農業政策の見直しが必要であると考えています。本市では、小規模農家が大多数を占めており、減反廃止は農業経営の存続や農地の維持・保全のみならず、集落機能自体への影響も危惧されることから、今後、水田農業のあり方や農村地域の活性化策等を総合的に検討するとともに、農業者が将来展望をもつて、経営に意欲を持てる施策の展開に努めていきます。

都市計画

問 秋田都市計画区域と河辺都市計画区域の統合による新たな開発許可制度と地区計画策定運用基準はどのようなものですか。

答 河辺都市計画区域に指定を予定している市街地調整区域では、土地利用規制が強化されるため、既存集落の維持活性化を目的に一定規模の集落内で自己用住宅等の建築制限を緩和するとともに、本市の産業振興に資する開発などについては、地区計画の規準を定め運用することで柔軟に対応することとしています。さらに、住民説明会等での意見を踏まえ、主要な道路沿線について一定期間、土地利用規制を緩和することを検討しています。



雄和地域の田園風景

議会の動き (11月1日~2月6日)

11月15日 各派会長会議
18日 議会運営委員会
29日 11月定例会
(12月20日まで)
12月20日 議会運営委員会
編集委員会

1月9日 議会運営委員会
10日 編集委員会
14日 議会運営委員会
16日 議会運営委員会行政視察
(1月17日まで)
17日 編集委員会

1月21日 1月臨時議会
議会運営委員会
厚生委員会 (閉会中)
1月24日 各派会長会議
2月3日 各派会長会議
2月6日 議会運営委員会

一般質問

市政全般にわたり、9人の議員が質問しました。

秋水会
赤坂光一

◇市長の政治姿勢◇市議会に
対する市当局の対応◇社会保
障・税に関わる番号制度◇防災
対策◇介護◇環境施策◇土崎
新屋地区のまちづくり◇秋田
公立美術大学◇空き家バンク

土崎、新屋のまちづくり

問 現在、土崎、新屋両地
区で行われているまちづく
り基本構想の作成に向けた
ワークショップのメンバー
や進め方などの状況と、今
後、同基本構想に盛り込ま
れる内容はどのようになっ
ていますか。

答 11月から開催している
ワークショップは、事前に
市民説明会を開催し、広く
参加を呼び掛け、土崎地区
では、みなと商友会や連合
町内会など、新屋地区では、
新屋振興会や秋田公立美術
大学の関係者などを中心に、
両地区ともに20人を超える
地域住民が参加しました。
このワークショップは、ファ
シリテーター（※2）が進
行し、まちづくりのコンセ
プト等について活発な意見

が出されています。今後、
地元からの提案内容を踏ま
えながら、住民主体のまち
づくりの方向性と取り組み、
そのために必要な拠点施設
の考え方などについて話し
合い、まちづくり基本構想
として、年度内に取りまと
めたいと考えています。



ワークショップの様子

空き家バンク

問 空き家バンクを移住促
進施策と組み合わせる進め
ていく考えはありませんか。

答 移住促進は、人口減少
が進む中、外からの力を取
り込むことで、地域経済の
活性化やにぎわい創出を図
り、元気な秋田市をつくり
上げるための取り組みの一
つでもあると認識しており、
空き家バンクの制度を構築
した後、活用していきたい
と考えています。

決算特別委員会の 審査から

10月15日から4日間開
催された決算特別委員会
での主な質疑応答です。

委員 各種証明書自動 交付機による印鑑登録証 明書、住民票の写しおよ び戸籍証明書等の交付件 数はどうですか。また、 どのように利用促進を 図っているのですか。

市民生活部 各種証明
書の平成23年度の交付総
数30万4千951件のうち自
動交付機による交付は
5万802件で、利用率は
16・7%でしたが、24年
度の交付総数30万4千897
件のうち自動交付機によ
る交付は11万5千626件
で、利用率は37・9%と
なっており、前年度と
比較すると件数にして
6万4千824件、2・27倍
の増となっています。自
動交付機の利用促進につ
いては、24年4月に本庁
に1台増設したほか、同
年7月に開館したにぎわ

い交流館に新たに1台設
置し、現在、計7台の設
置となっていることに加
え、24年4月から自動交
付機による各種証明書交
付手数料を100円値下げし
たところです。自動交付
機は、利用時間が平日午
後7時までと窓口よりも
長いほか、休日も利用で
きるなど利便性が高いこ
とから、自動交付機を利
用する際に必要なあきた
市民カードの普及をさら
に進め、利用促進を図っ
ていきます。



自動交付機

※設置場所 秋田市役所（市
民課）2台、北部市民サービ
スセンター、西部市民サービ
スセンター、駅東サービスセ
ンター、秋田テルサ、にぎわ
い交流館

※2 ファシリテーター…集団による問題解決、アイデア創造、教育、学習など、あらゆる知識創造活動を支援し、促進する役割を担う人。会議の進行役。

総務委員会

総務部、企画財政部、会計課
消防本部、選挙管理委員会、
監査委員、固定資産評価審
査委員会、公平委員会等の
所管事項

委員 新庁舎建設工事における総合評価落札方式の地元経済貢献について、他都市の先進事例の検証結果を把握するとともに、落札業者から提案されている内容を経済波及効果を含めて検証し、結果を公表するべきではないですか。

総務部 他都市において、庁舎建設による経済波及効果を試算している事例はほとんどありませんが、総合評価落札方式の評価項目に地元貢献を設定している事例を参考にしながら検証していきたいと考えています。また、本市における経済波及効果については、現時点では簡便な方式で算出していますが、今後、中間および最終状況について試算するとともに、提案内容に関する検証結果についても、ホームページ等を通じて市民や議会に周知していきます。

厚生委員会

市民生活部、福祉保健部、保健所、子ども未来部、市立病院の所管事項

委員 老人福祉センターの温浴施設等の給湯について、老朽化した既存の都市ガスだき温水ボイラーを木質ペレットだき温水ボイラーに更新することですが、これまでの温水ボイラーに比べ、耐用年数、設置費用および年間の燃料費はどの程度違うのですか。

福祉保健部 これまでの温水ボイラーは、耐用年数が15年程度、設置費用が約389万円で、年間のガス料金が約345万円であるのに対して、今回導入する木質ペレットだき温水ボイラーは、耐用年数が20年以上と言われているほか、設置費用が約3千456万円と割高なもの、県補助金等の有利な財源の活用により一般財源が削減できる上、年間の燃料費が約258万円と87万円程度の削減が図られます。加えて環境負荷の軽減にも寄与するものと考えています。

教育産業委員会

商工部、農林部、教育委員会、農業委員会の所管事項

委員 「美術館の街」活性化事業について、千秋美術館の開館25周年記念として、静岡県熱海市にある「MOA美術館名品展」を平成26年4月26日から6月8日まで開催することですが、どのような作品が展示されるのですか。

教育委員会 MOA美術館が所蔵している約3千500点のうち、豊臣秀吉が千利休に作らせたと言われる「黄金の茶室」の復元をメインに、国の重要文化財で秋田にゆかりのある佐竹本三十六歌仙切の「平兼盛像」、また、江戸時代に活躍した尾形光琳や酒井抱一の作品など約50点を展示します。さらに、尾形光琳の国宝「紅白梅図屏風」の実物大レプリカも展示する予定であることから、多くの方に観覧していただけるよう民間テレビ局と連携し、PRしていきます。

建設委員会

環境部、建設部、都市整備部、上下水道局の所管事項

委員 除排雪経費について、どのような理由から今回の補正額を10億円としたのですか。また、これらが本格的な降雪が予想される時期であることを考えると、もう少し多い額を計上するべきではありませんか。

建設部 除排雪に要する経費は降雪状況などによって変動するものであり、今後必要な予算額を現時点で的確に把握することは困難であることから、今回は全市一斉除排雪を3回程度実施できる額を計上したものです。今後は、現時点での予算残額と今回の補正額を合わせた予算で除排雪に臨むこととなりますが、不足を来すことが見込まれる場合には、速やかに追加の予算措置を講ずるなど、遅滞のない対応に努めていきます。



2月定例会のお知らせ(予定)

■日程

2月20日	本会議
3月4日、5日	本会議「代表質問」
3月6日	常任委員会(先議案件)
7日、10日	本会議「一般質問」
11日～17日	常任委員会(土日除く)
20日	本会議

■代表質問者 ～各派交渉団体(3人以上所属の会派)を代表して質問します。

岩谷政良(秋水会)、渡辺良雄(市民クラブ)、鳥井修(希望)、松田豊臣(公明党)、佐藤純子(共産党)、小林一夫(フォーラム21)

■一般質問者

伊藤一榮・今川雄策(秋水会)、見上万里子(市民クラブ)、小野寺誠(希望)、堀井明美(公明党)、佐藤広久(共産党)、長澤孝政(社会・市民)

※日程および代表・一般質問者は変更になることがありますので、議会議務局までご確認ください。